

令和 3年度予算見積調書

課室名：障害者福祉推進課

担当名：障害福祉・自立支援医療担当

内線：3295

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B67	災害派遣精神医療チーム（DPAT）体制整備事業費		一般会計	衛生費	公衆衛生費	精神保健費	精神保健医療対策費	
事業期間	平成26年度～	根拠法令	災害派遣精神医療チーム（DPAT）活動要領 （平成26年1月7日付け厚生労働省精神・障害保健課長通知）		宣言項目	03 大地震など危機への備えの強化	SDGsゴール	3
					分野施策	020516 危機管理・防災体制の強化	SDGsターゲット	3-4
1 事業の概要			5 事業説明					
<p>大規模災害が発生した際、被災地域の都道府県の派遣要請により被災地域に入り、精神科医療及び精神保健活動の支援を行う災害派遣精神科医療チーム（DPAT）を編成する体制を整えるとともに、チーム構成員の質の維持及び向上を図る。</p> <p>※DPAT：Disaster Psychiatric Assistance Team</p> <p>(1) 連絡調整会議開催経費 46千円 (2) チーム研修 230千円 (3) 事前準備のための消耗品等購入 458千円 (4) 研修の講師派遣等に係る経費 255千円</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 連絡調整会議開催経費 埼玉県災害派遣精神医療チーム（埼玉DPAT）を編成する医療機関や関係機関（関係課所等）の代表者、有識者等による連絡調整会議を開催し、平時からの災害ネットワークを構築し、研修や訓練について検討する。</p> <p>イ チーム研修及び訓練 埼玉災害派遣精神医療チーム（DPAT）の構成員（精神科医師、看護師、業務調整員等）に対する研修会を開催するほか、国が主催するDPAT研修へ職員を派遣する。</p> <p>ウ DPAT派遣に向けた事前準備のための消耗品等購入 DPATの専門研修や訓練に係る必要な消耗品及び備品、県外派遣に必要な資機材を整備する。</p> <p>(2) 事業計画 埼玉DPAT連絡調整会議の開催 埼玉DPAT研修・DPAT活動に係る講義及び大規模災害時演習等をチーム単位で参加できるよう研修を実施 埼玉DPATロジスティクス研修・業務調整員（ロジスティクス隊員）に向けた情報システム操作等の研修を実施 専門研修、訓練及び県外派遣に備えた備品、消耗品、資機材等の整備</p> <p>(3) 事業効果 平時からのネットワークや準備により、大規模災害時に被災地域に対して速やかにDPATを派遣することができる。</p> <p>(4) これまでのDPAT派遣実績（県外派遣）</p> <p>ア 平成28年熊本地震 平成28年4月18日～30日 精神医療センター先遣隊及び後続隊の計2隊を熊本県に派遣</p> <p>イ 平成30年北海道胆振東部地震 平成30年9月7日～8日 精神医療センター先遣隊を1隊派遣 ※移動中に撤退要請があり、青森県で撤収</p> <p>ウ 令和元年台風15号 令和元年9月10日～12日（派遣要請当日に派遣） 精神医療センター先遣隊を千葉県に1隊派遣 いずれもDPAT隊は、精神保健指定医1名、看護師1名、精神保健福祉士1名、当課職員1名の計4名で編成</p>					
2 事業主体及び負担区分 （国1/2・県1/2）								
3 地方財政措置の状況 なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.2人=1,900千円								
予算額		財源内訳					一般財源	前年との 対比
決定額	989	国庫支出金	447	諸収入	86		456	△207
前年額	1,196		543		105		548	